

食とスポーツが結ぶ日伊の絆

静岡県の川勝平太知事は国境を越えた地方自治体間の交流に積極的に取り組んでいる。昨年10月には北イタリアのアドリア海に面したフリウリ・ベネチア・ジュリア州を訪問し、スポーツ交流で合意した。今年の日伊交流150周年。川勝知事と同国のドメニコ・ジョルジ駐日大使はイタリア大使館(東京都港区三田)で、地方自治体が担う交流の大切さを熱く語り合った。【司会は西川恵・客員編集委員】

毎日新聞 朝刊 2016年3月6日付掲載 一部写真を加えております。

静岡県知事 **川勝平太** かわかつ へいた

駐日イタリア大使 **ドメニコ・ジョルジ氏**

自転車 人々を結びつけるツール

ミラノ万博と食

——まず昨年のミラノ万博からお話いただけますか。

知事 今年の日伊修好通商条約が締結されて150周年ですが、この節目の年に大使との対談が実現したことは光栄です。ミラノ万博は6カ月の期間中、目標の2000万人を大きく上回る入場者がありました。ご成功をお祝いします。日本館には228万人もの入場者がありました。

大使 日本館は数だけでなく質でも成功しました。パビリオンの中で最も入場者が多く、レ

ストラも10時間待ちの行列でした。

知事 万国博覧会は19世紀半ばに始まり、長らく機械など産業技術を示すものでした。ミラノ万博は食がテーマです。21世紀で最も重要なテーマの一つです。ハードからソフトへのパラダイムシフトで、それを見事にやってのけられましたね。

——静岡県の万博での取り組みはどう評価されましたか。

知事 昨年8月下旬の5日間、静岡県は富士山を共有する山梨県と組んで特別フェアを行いました。お茶のほか多彩な食材を紹介し、その食材を使った

和食の提供やそばの実演に3人の料理人を送りました。毎日約3000人の方が訪れ、日本酒も楽しまれました。イタリアの方は和食の素晴らしさを理解してくださり、感謝しています。

大使 イタリア料理と和食には共通点が多々あります。両国民は自然で素朴なものが好きで、ソースや複雑なものがない。地域性と季節も大事にします。

知事 食の哲学が大変似ています。自然や季節の産物を大事にしますね。イタリア料理が地中海料理という枠組みでユネス

コの無形文化遺産に登録されたのはフランス料理と同じ2010年でした。和食は13年に登録されました。日本にとって幸運だったことは、ミラノ万博の前に遺産登録がされて和食の価値が認められ、実際に和食がどんなものを万博で知ってもらったことができたことです。

大使 両国の食はヘルシーで、人々が長命という点でも共通しています。自然に近い素朴なものは健康にいいのです。

知事 確かに日本人とイタリア人は世界で最も長寿な国民です。

大使 世界で偽物のコピーが最も出回っている料理という点でも両国は似ています(笑)。イタリア料理と似ても似つかないのに、店先にイタリア国旗を掲げそれらしく見せている。和食のレストランと云いつつ、中国やアジアの料理だったりする。日本政府は和食レストランの認証制度を始めるようですが、イタリア政府は数年前から始めています。ただお世辞でなく、日本のイタリアンレストランは世界でも最高水準です。多くの料理人がイタリアで勉強していることと無関係ではないでしょう。

知事 ミラノ万博が「食」をテーマにしたことが重要なのは、アメリカ流のファストフードと対極にあるからです。イタリアは世界に先駆けてスローフードを広めました。生活、料理、季節を楽しむ、地域の絆を大切にする運動ですね。スローフードは生活の哲学で、世界に対する重要な文化の発信です。

大使 いまスローフードの活動は世界に広がっていて、支部は150近くに上っています。

知事 スローフードは地域の多様性の尊重です。地域の人々に勇気を与え、画一的なファストフードではなく、人々が地域

スローフードは世界への重要なメッセージ



©毎日新聞社

Profile 静岡県知事 川勝 平太

1948年生まれ。早稲田大学、同大学院をへて英オックスフォード大学で博士号取得。早大教授、国際日本文化研究センター教授、静岡文化芸術大学学長などをへて2009年静岡県知事。現在2期目。



©毎日新聞社

Profile 駐日イタリア大使 ドメニコ・ジョルジ氏

1952年、イタリア北部のピアチェンツァ生まれ。フィレンツェ大学(政治学)卒業後、外務省入省。駐アフガニスタン大使、地中海・中近東部長などをへて、2012年から駐日大使。



昨年10月にスポーツ交流協定を締結した、イタリア国フリウリ・ベネチア・ジュリア州のデボラ・セラキアーニ州知事と川勝知事。



フリウリ・ベネチア・ジュリア州
州都はトリエステ。イタリア北東部に位置する。イタリア政府観光局によると、人口は約122万人(2014年)。オーストリアやスロベニアと国境を接するため、中欧の交易都市として文化遺産が多く残される。豊かな自然も特徴。

の食材を誇るようになりまし
た。ミラノ万博が画期的なの
は、万博史上はじめて、食文化
の大切さを世界に発信したこ
とです。

国境越えた自治体交流

——川勝知事は国境を越えた自治体間の交流に積極的ですが、大使がフリウリ・ベネチア・ジュリア州を紹介されたので
すね。

大使 同州には自転車レース
で知られるゾンコラン山があ
り、富士山のある静岡県と自転
車競技を通じた交流を希望し
ていました。同州と静岡県は似
ていて、面積がほぼ同じ、山が

多い一方で海もある。伝統ある
食も似ています。共通点の多さ
は幅広い協力の基盤となりま
す。自転車は出発点で、食の
フェア、双方向での観光振興、
防災や地震予知での協力、さら
に州都トリエステの港はイタ
リアでも最良の港の一つで、静
岡県の港との交流もできます。

そうそう、ダイナミックな知事
がいる点も似ています(笑い)。
知事 同州のセラキアーニ知
事は才媛です。昨年10月、ス
ポーツ交流協定の締結で訪問
した時に、歓迎していただきま
した。彼女は民間防災局の見学
も勧めてくれました。訪れると
実に素晴らしい施設でした。両

カーをご存知ですか。彼の所属
チームは静岡にあります。また
昨年はイタリアのライフル射
撃の金メダル選手が県央の藤
枝市に滞在しています。柔道の
施設も充実しています。静岡県
は自転車以外のスポーツも盛
んです。

シック―富士・ゾンコラン―と
名付けてくださり、8人の日本
のサイクリストが参加しまし
た。同州からは秋ごろをめどに
静岡県で開かれる富士山や伊豆
でのサイクリング大会に参加表
明がきています。大変にうれし
く、大歓迎です。

大使 もしかしたらゴールに
たどり着けない選手がいるか
もしれません。しかし大切なこ
とは自然の中で市民がスポー
ツを楽しむことです。自転車は
人々を結びつける強力なツ
ールになります。人々を友人のよ
うに近づける点で、自転車に
ノーベル賞を出すべきだと
の意見さえあります。

知事 20年の東京五輪では日
本サイクルスポーツセンター
(伊豆市)が自転車競技(トラ
ック、マウンテンバイク、MT
B)会場になります。東京五輪
の1年前にはラグビー・ワール
ドカップ2019が日本で開
催され、静岡県のエコパスタジ
アム(袋井市)が試合会場の一
つです。大使はラグビー選手で
五郎丸という素晴らしいキッ

——東京五輪やパラリンピッ
クではイタリア選手にキャン
プ場も提供できますね。
知事 トレーニングの施設が
充実しているので大歓迎です。
必要な情報はいつでも提供し
ます。大使に作っていただいた
交流の芽は先へ伸び、道は着実
に広がっています。

記念事業 目白押し

——日伊交流150周年の記
念事業はどうですか。*

大使 目白押しです。なかでも
2つの重要なイベントが「レオ
ナルド・ダ・ヴィンチ 天才の
挑戦展」と「ボツティチェリ展」
です。このほか「カラヴァッ
ジョ展」「ジョルジョ・モラン
ディ―終わりなき変奏―アカ
デミア美術館所蔵ヴェネツィ

国は地震国ですから、防災や地
震予知などの分野でも協力で
きます。

大使 自治体間の協力にはさ
まざまなプラス面があります。
人と人をつなぐ外交ができる
のも強みです。

知事 20世紀末から世界各国
の自治体が友好関係を結ぶ動
きが加速しており、現在、「都
市・自治体連合(UCLG)」と
いう、世界にまたがるネット
ワークが形成されています。自
治体間の国連です。自治体間の
対外協力で市民が相互訪問し、
交流して理解を深めることは
平和の基礎となります。自治体
も平和のために貢献できるの

アルネサンスの巨匠たち「ミ
ケランジェロ展」「メデイチ家
の至宝展」「ポンペイ展」があ
ります。スカラ座バレエ団も来日
します。学者によるセミナーも
数多く控えています。天正遣欧
少年使節の伊東マンシヨの肖
像画が2年前にミラノの個人
所蔵品から発見され、この絵も
来日します。

知事 日伊交流では3人のイタ
リア人に感謝したいと思います。
1人はマルコ・ポーロ。ベネチア
商人の息子で中国に行き、帰国後
に「東方見聞録」を書いて、日本の
情報を欧州に広めました。
大使 黄金の国、ジパングです
ね。

知事 そうです。2人目がコロ
ンブス、ジェノバ出身のイタリ
ア人です。日本に行く目的で大
航海に出て、結果的に新大陸に
到達しました。コロンブスも日
本を欧州の人々に認識させる
上で大きな役割を演じました。
そして3人目が、静岡県とフリ
ウリ・ベネチア・ジュリア州と
を結びつけてくださったジョ
ルジ大使です。

大使 私は仲介の労をとった
だけです。

知事 日伊両国は多くのもの
を共有していますが、日本に取
り入れたいと思うものもあり
ます。同州の州庁舎前の美しい
広場に、オープンエア(屋外)の
魅力的なカフェがあります。
コーヒーがすごくおいしくて、
静岡県にもこのようなイタリ
アスタイルを持ち込みたい。風
と花と富士山を楽しみながら
コーヒーを楽しむのは優雅な
時間になるでしょう。

大使 私にとっても日本で足
りないものがあるとしたら唯
一、この屋外でのコーヒーで
す。ぜひ広がってほしいです。

